

## P8

### 豊富なサービス

- 現在50種類の多岐にわたるサービスが提供されています
- フルマネージドサービスも多く存在し、高負荷に耐えうる信頼性に高いシステムを少ない手間で運用可能

### 柔軟なリソース

- 必要な時に必要なだけ調達可能
- ボタンクリック、コマンド一発で瞬時に数百台起動可能
- 不要になった場合はいつでも処分

### 従量課金

- 使ったら使った分だけ支払う
  - 予約金や入札によって払ってサーバを利用してコスト削減できる方法もあります
- 

## P14

ElasticBeanstalkを使って、インフラコストを最小限にしている

---

## P15

# 適材適所なDBの使い分け例

- DyanamoDB:チャットやニュースフィードなど書き込み頻度が非常に多いデータ
  - ElastiCache:書き込みが頻度が高いかつ消えても困らないデータ(テンポラリデータなど)
  - RDS:基本的なデータ、トランザクション
- 

## P16

最新のトレンドと3層ネットワークにした好例

---

## P21

- VPCのアドレスレンジの設定が可能
  - 利用できるアドレスレンジ (/16~/28) を自由に指定
  - アドレス空間は設定後は変更不可
  - 既存環境のアドレス空間と被らないような考慮が必要
  - アドレス空間を無駄にしないように、将来的な拡張も考慮にいれる必要がある
- 

## P22

- 作成したVPCの内部に自由にサブネットを作成可能
- アドレスレンジは設定後は変更不可
- 将来的な拡張も考慮にいれる必要がある

## P23

### ELB

- ロードバランサー
- InternetからのリクエストをWebサーバに分散

### Webサーバ

- ELBの配下の複数のWebサーバ
- それぞれのAZに均等に配置する
- アクセスリクエストはELBを経由するため直接Internetからアクセスできる必要はない

### RDS

- RDB
  - 直接インターネットからはアクセスされない
- 

## P24

- トラフィックをコントロールするためにルーティングテーブルをサブネットに追加
  - Internet GatewayにルーティングされるものはPublic Subnetに
  - デフォルトゲートウェイにNAT Gatewayを指定することで、Private SubnetもNAT経由でInternetにアクセス可能
  - NAT GatewayにはElasticIPを指定
-

